

USS

Used car
System
Solutions

株式会社ユー・エス・エス

会社説明資料

証券コード：4732

U
S
S

本日の内容

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

4

新型コロナウイルスの影響について

5

株主還元

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

4

新型コロナウイルスの影響について

5

株主還元

会社概要

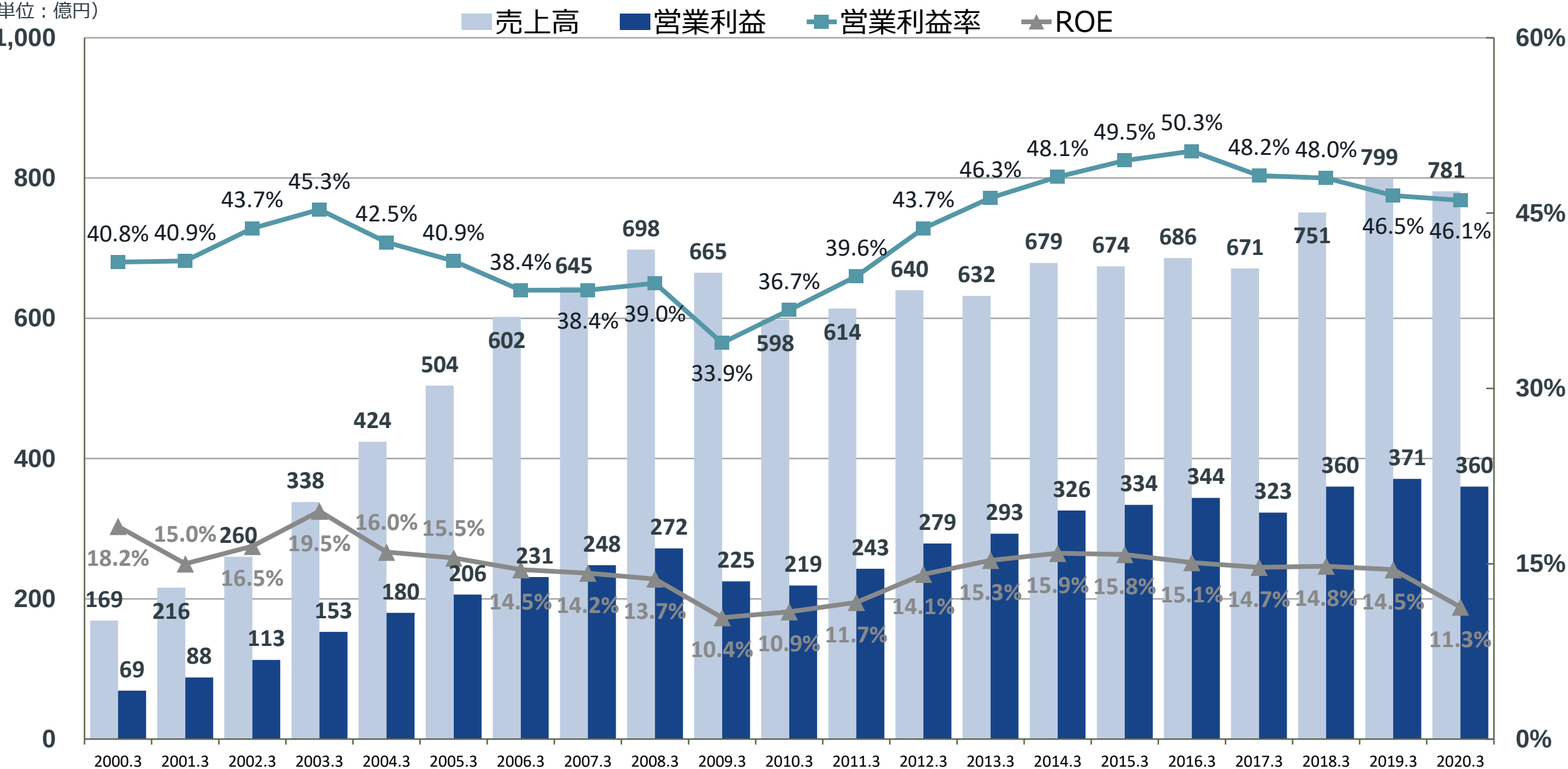
商号	株式会社ユー・エス・エス（英文名 USS Co., Ltd.）
代表者	代表取締役会長兼最高経営責任者 安藤 之弘 代表取締役社長兼最高執行責任者 瀬田 大
本社所在地	愛知県東海市新宝町507番地の20
資本金	188億円
設立	1980年10月
従業員数	正社員1,136名（グループ全体）
株主数	14,264名
決算期	3月末日
上場市場	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
証券コード	4732

（2020年9月30日現在）

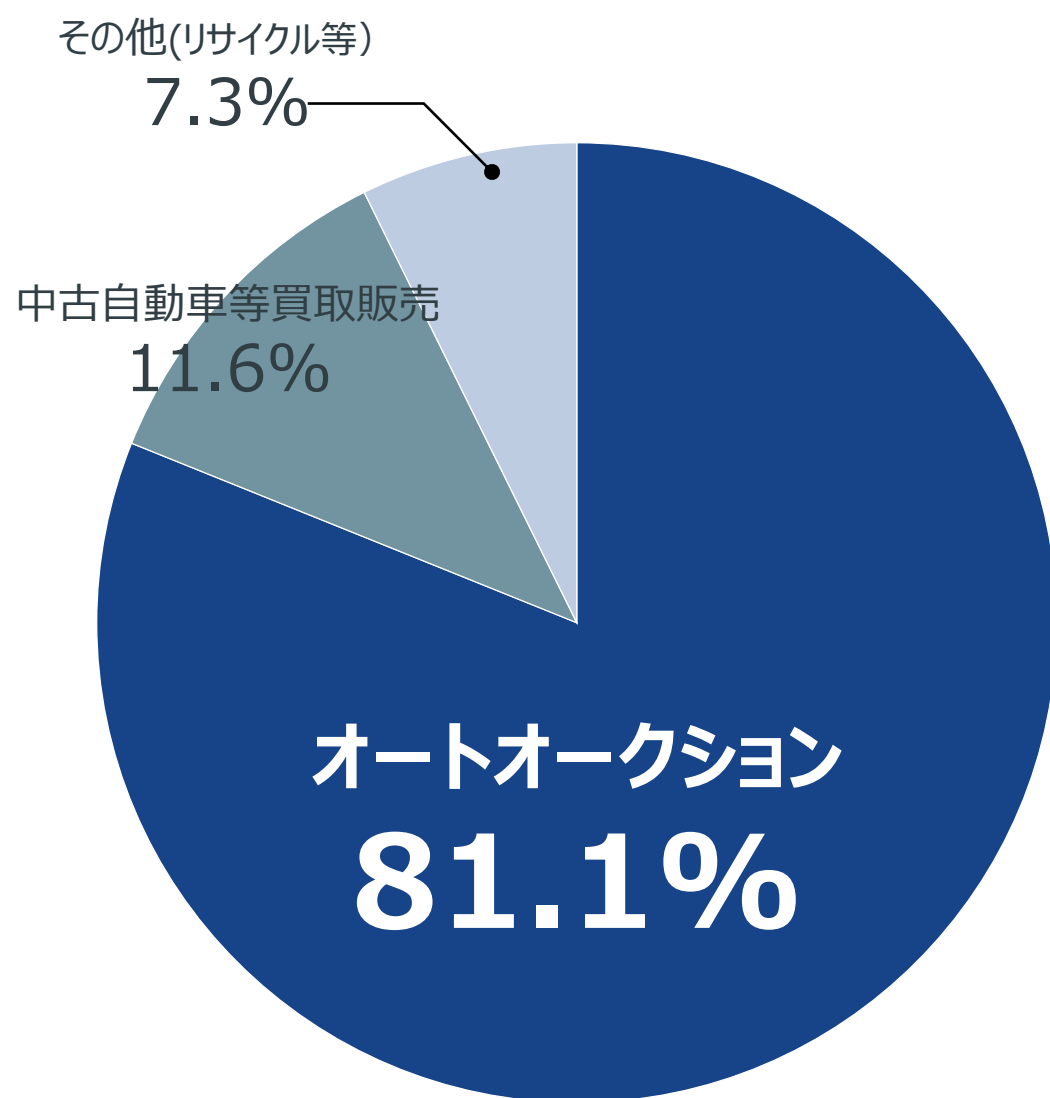
連結業績の推移

(単位：億円)

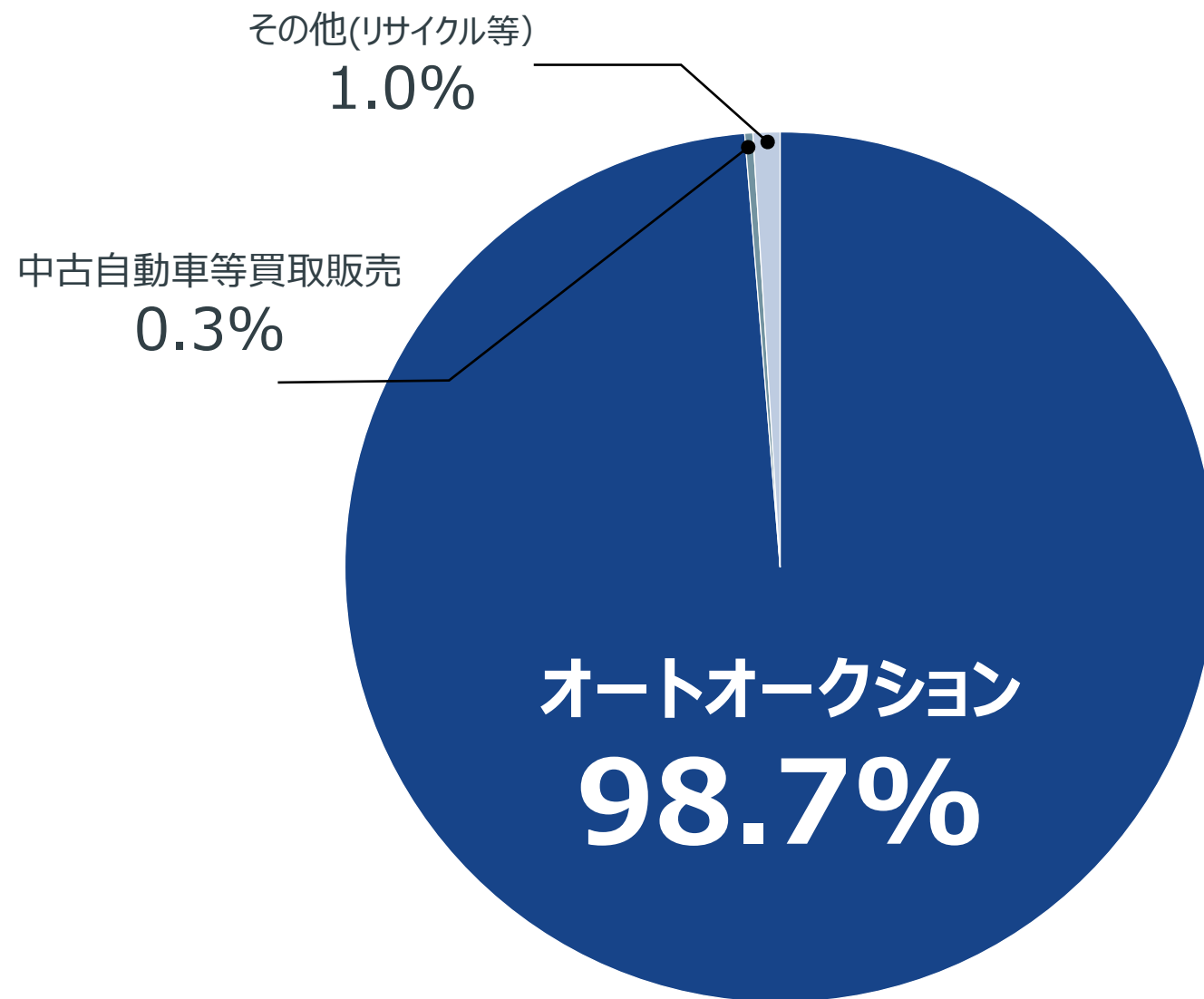
1,000



売上高・営業利益構成比について



セグメント別
売上高構成比
(2020.03)



セグメント別
営業利益構成比
(2020.03)

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

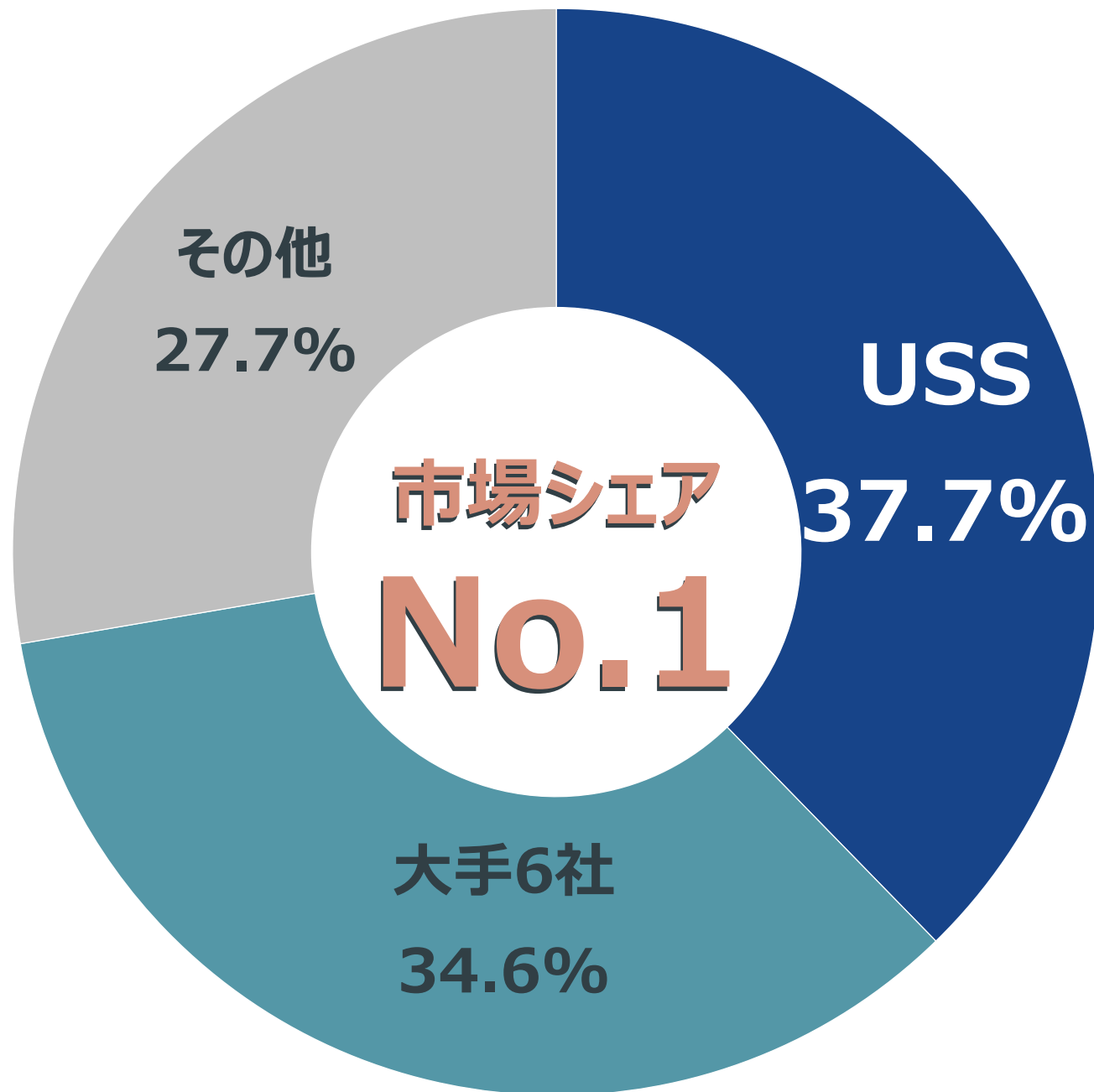
4

新型コロナウイルスの影響について

5

株主還元

オートオークション業界における競争力



圧倒的な会員数 **47,859社**

(2020年12月31日現在)

業界最大手 全国**19**会場を展開

東京・名古屋・HAA神戸会場など
大規模会場

衛星TV・インターネットを通じた
外部落札システム

2020年（1月～12月）市場シェア

*大手6社：TAA(13.1%), CAA(5.5%), アライAA(5.3%),
MIRIVE(4.9%), JU岐阜(3.1%), KCAA(2.7%)

大規模会場について

<近畿地区> **44.4%**

会場名	出品台数	シェア
HAA神戸	224,840	19.9%
USS大阪	207,717	18.4%
TAA近畿	133,780	11.8%
MIRIVE大阪	123,862	11.0%
ベイオーク	70,382	6.2%
USS神戸	69,638	6.2%
いすゞモーターA神戸	58,400	5.2%
ホンダAA関西	47,787	4.2%
TAA兵庫	40,968	3.6%
IAA大阪	39,655	3.5%

業界
第3位

USSは関東・中部・近畿の3大市場で
それぞれ約4割のシェアを獲得。
(地域ナンバー1会場を運営)

<中部地区> **41.7%**

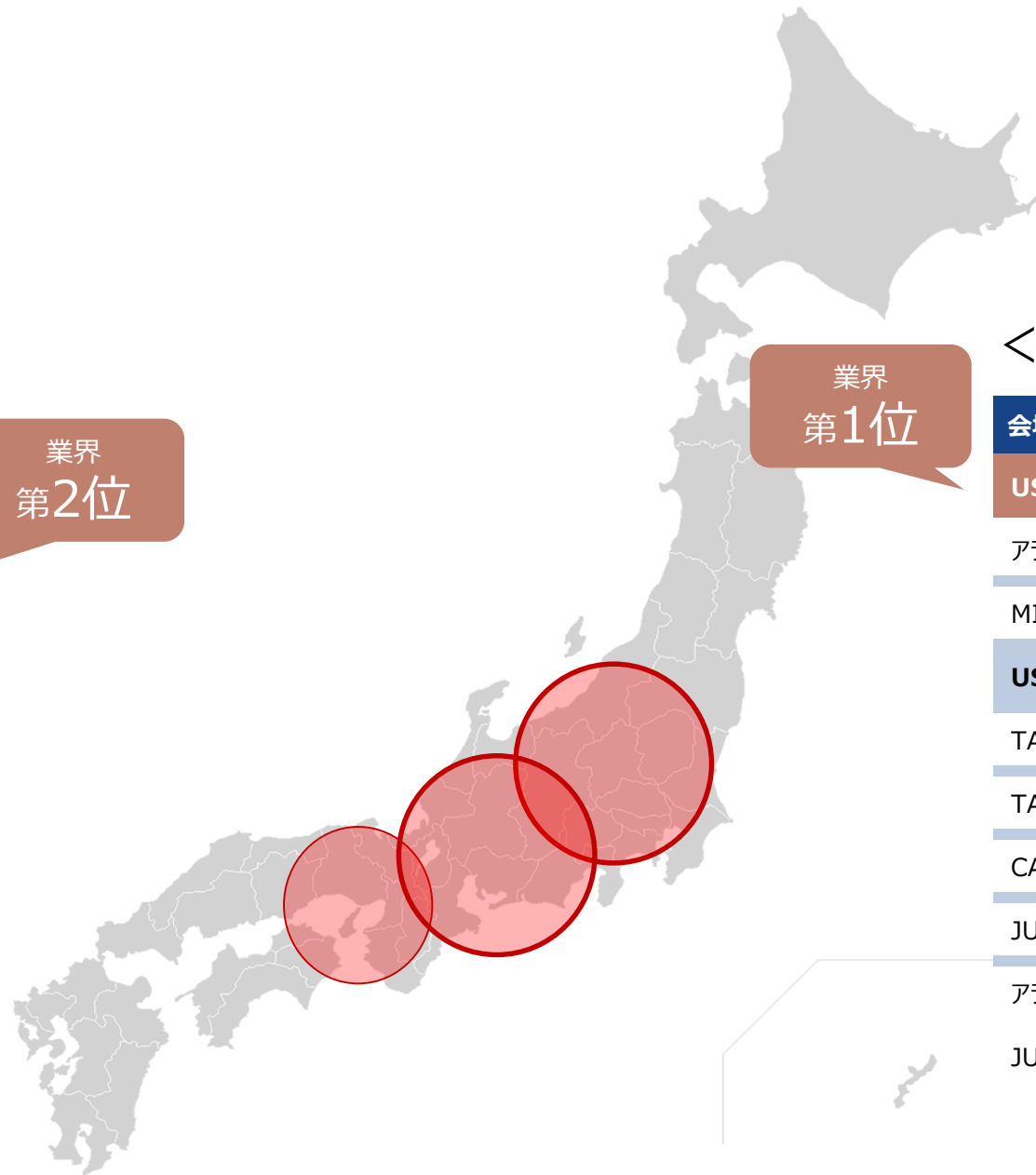
会場名	出品台数	シェア
USS名古屋	450,881	27.4%
JU岐阜	222,642	13.5%
CAA中部	179,184	10.9%
JU愛知	144,559	8.8%
USS-R名古屋	119,815	7.3%
USS静岡	97,152	5.9%
TAA中部	93,567	5.7%
CAA岐阜	67,544	4.1%
JU静岡	40,395	2.5%
MIRIVE愛知	34,308	2.1%

業界
第2位

業界
第1位

<関東・甲信越地区> **39.2%**

会場名	出品台数	シェア
USS東京	619,452	23.9%
アライAA小山バントラ	198,498	7.7%
MIRIVE埼玉	190,191	7.3%
USS横浜	179,838	6.9%
TAA横浜	164,591	6.4%
TAA関東	117,426	4.5%
CAA東京	113,002	4.4%
JU埼玉	102,913	4.0%
アライAAベイサイド	97,057	3.6%
JU東京	87,328	3.2%



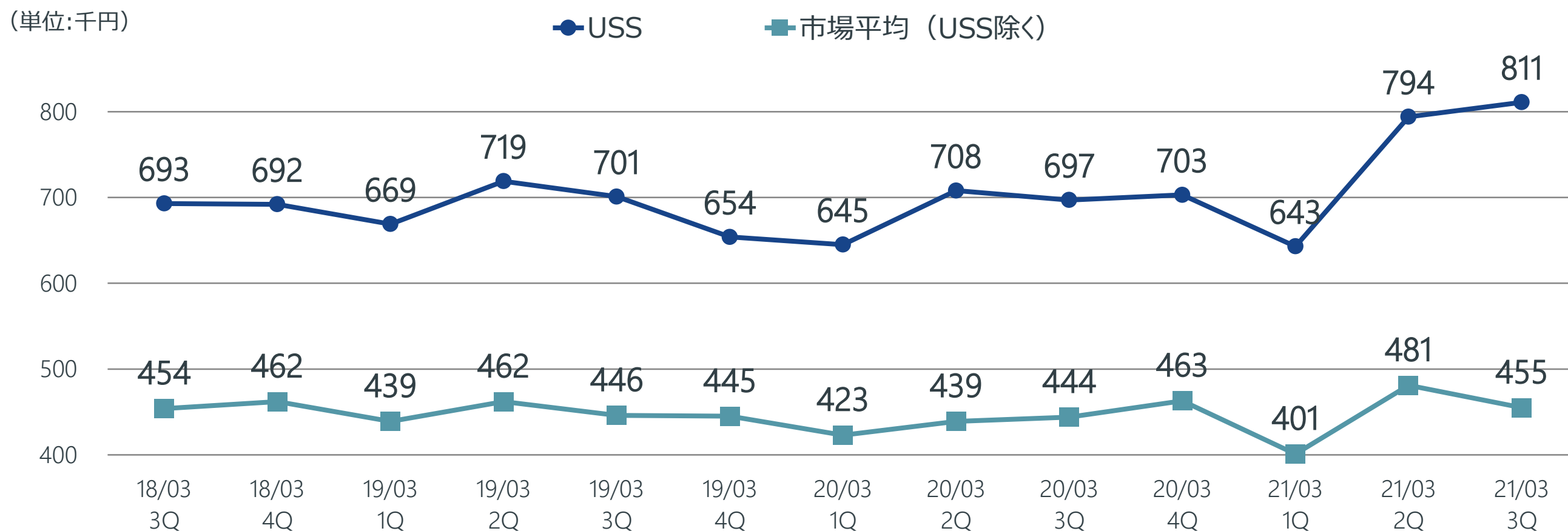
※2020年1月-12月実績

オートオークション市場との比較

USSは市場平均よりも高い成約車両単価

➔ 高品質の車両が集まる傾向

1台当たり成約車両金額の比較（四半期推移）



第1回 オークションの風景



1982年8月 第1回USS名古屋AA開催風景



1980年ごろ AA開催風景

1982年8月、記念すべき第1回オークションが手ゼリ方式にて開催。
北海道から沖縄まで予想を上回る**380人**の参加者を集め、
255台のクルマが競りにかけられ、**75.8%**という高い成約率を記録しました。

現在のUSS名古屋会場風景



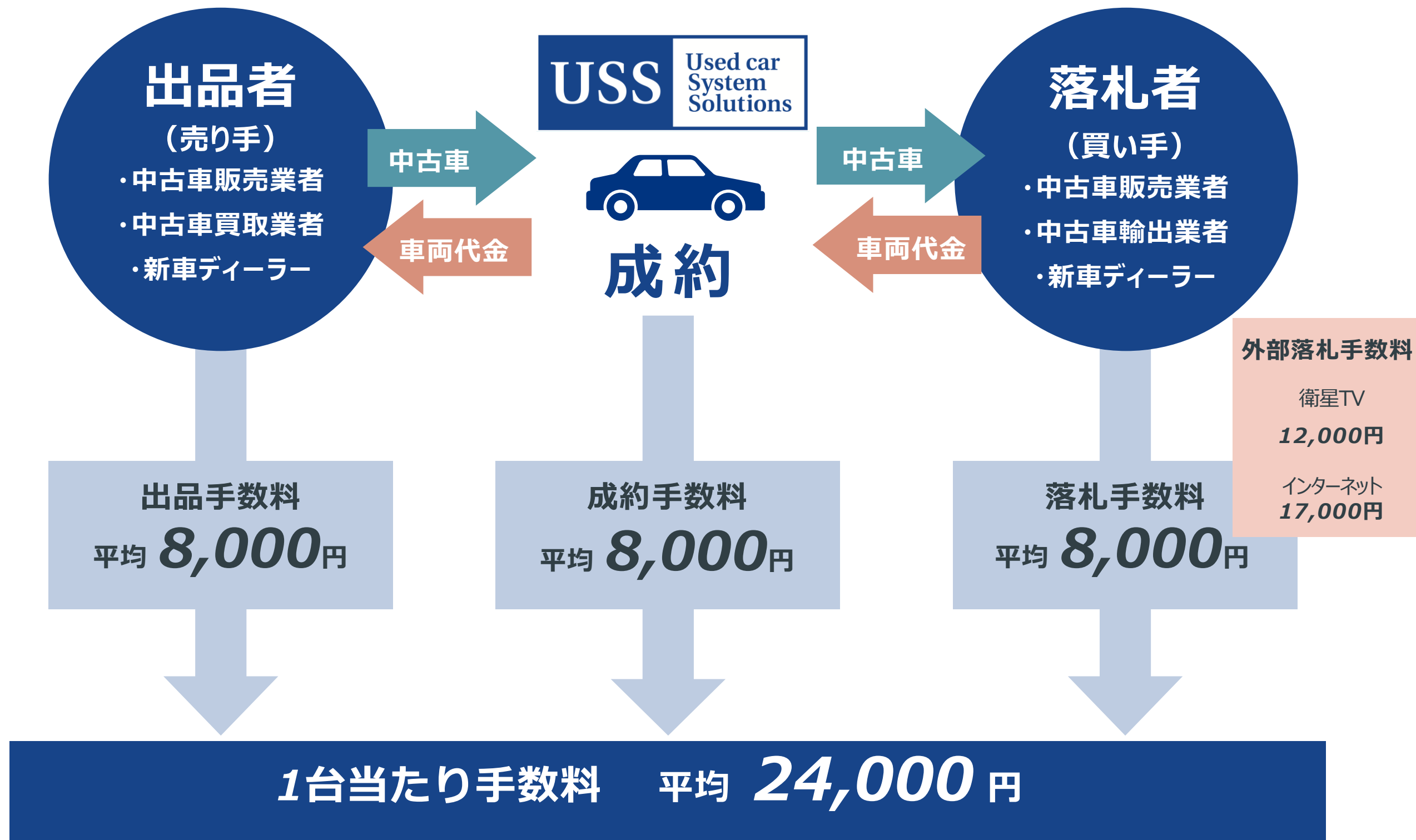
名古屋会場
全景



2013年8月、名古屋新会場をオープン！！

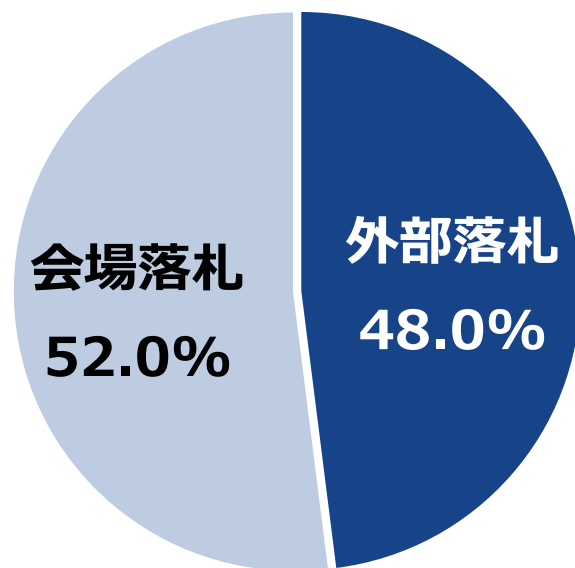
同時**10レーン**方式を採用。名古屋会場全体の収容台数は**16,000台**
1開催当たり**平均10,000台**（2020年3月期）の車が競りにかけられます。

オートオークション ビジネスモデル



外部落札(インターネット中継)について

2020年3月期
落札比率



衛星TV・インターネットによる

外部落札システムを自社開発して運営

月会費による安定的な収益を確保

外部落札手数料は高く設定

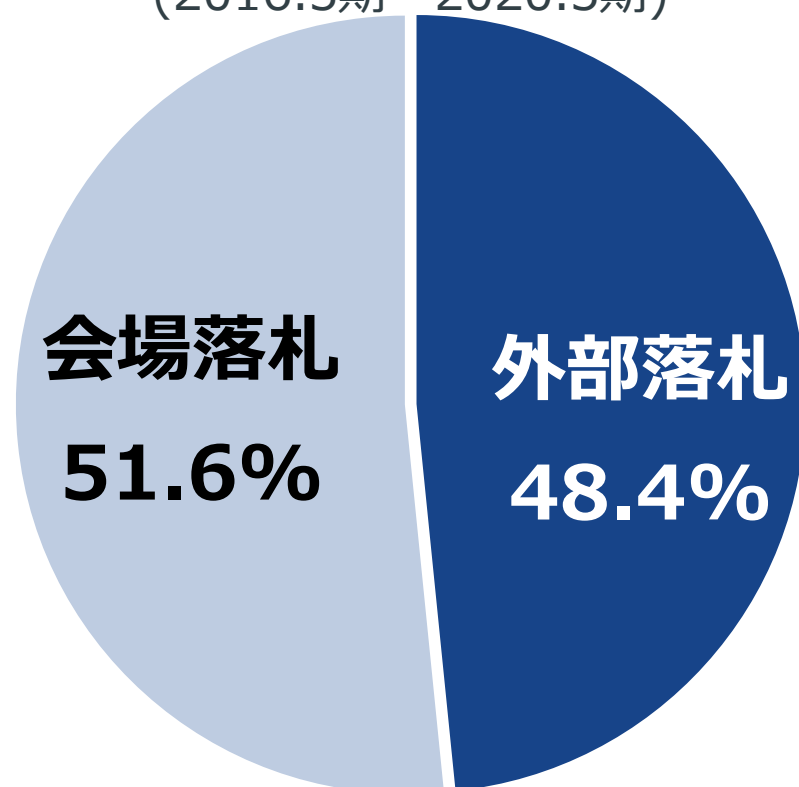
システム		会員数 (2020年12月31日現在)	月会費	落札手数料
現車会員		47,859社	-	平均8,000円
外部落札 会 員	インターネット(CIS)	32,392社	11,800円	17,000円
	衛星TV	2,227社	57,800円※	12,000円

※月会費内訳：リース料（6年間）24,240円、参加料33,560円

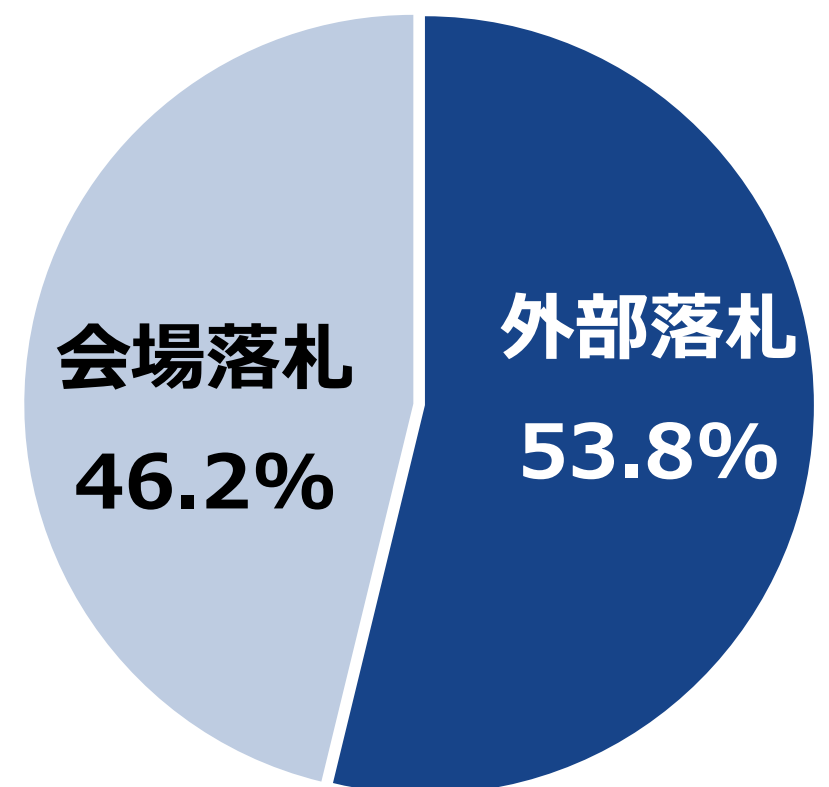
外部落札比率の上昇

新型コロナの影響で外部落札比率が増加
1台当たり外部落札手数料の増加

コロナ前過去5年
平均外部落札比率
(2016.3期～2020.3期)



2020年4～12月
外部落札比率



<参考> 月別落札比率の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019年	45.0%	46.9%	47.6%	47.8%	48.9%	49.8%	48.1%	48.3%	47.1%
2020年	53.2%	57.5%	54.8%	54.4%	53.9%	53.4%	53.9%	52.4%	51.8%

公正・公平なオークション運営のために

車両検査の充実に取り組む



USSでは独自の10段階の評価基準があります。

USS検査員がすべての出品車両を検査し※、

1台ごとに評価点をつけます。

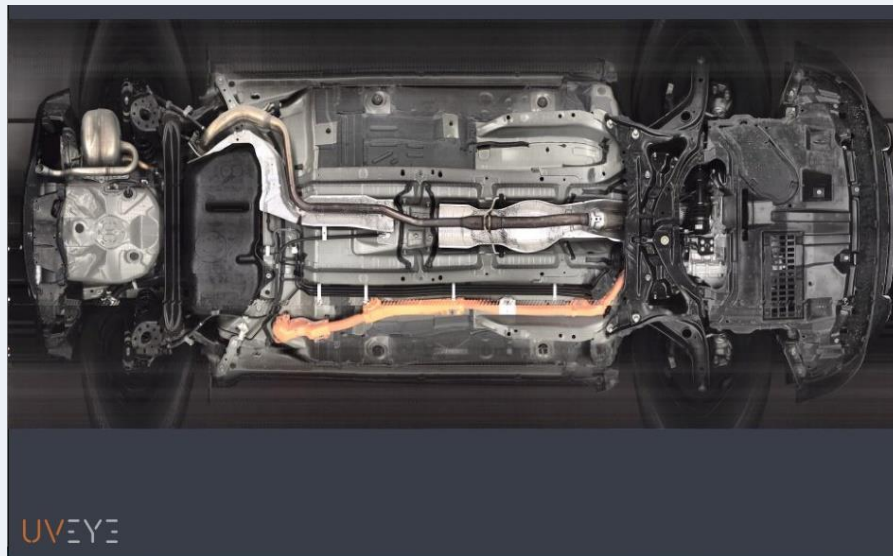
会員はこの評価点を参考に、USSのオークションに参加します。

※一部のコーナーでは車両検査を実施しないことが出品条件になっています。

目で見えない瑕疵を見える化するために

下回り画像システム

イスラエルのUveye Ltd.が開発した車両の下部とタイヤ・ホイールの撮影システムを導入。専用の撮影ユニットで画像を撮影。下見では確認できない車体下部や外観（タイヤ・ホイール側面）の傷やへこみなどを見ることができます。

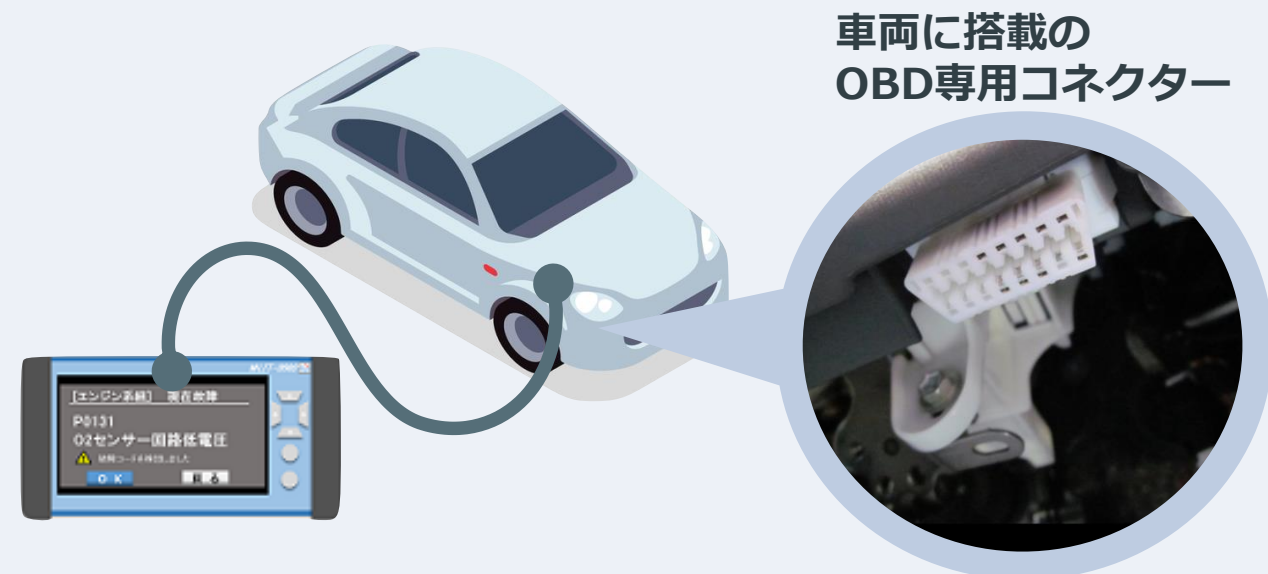


下回り画像

※インターネット会員のみ閲覧可能

OBD検査

業界初となる車載式故障診断装置(OBD:On-Board Diagnostics)を車両検査に導入。OBD機器でブレーキ、エンジンや安全装置などの機能をチェック、異常がなかった車両のみが専用コーナーへ出品されます。



イメージ/OBD機器による車のスキャン

出品票デジタル化の取り組みを開始

2022年3月期中の本格運用を目指し名古屋会場等でテスト運用を実施中

現状

出品会員は紙の出品票に車両情報を記載 → USS検査員は検査内容を出品票に追記

デジタル出品票導入

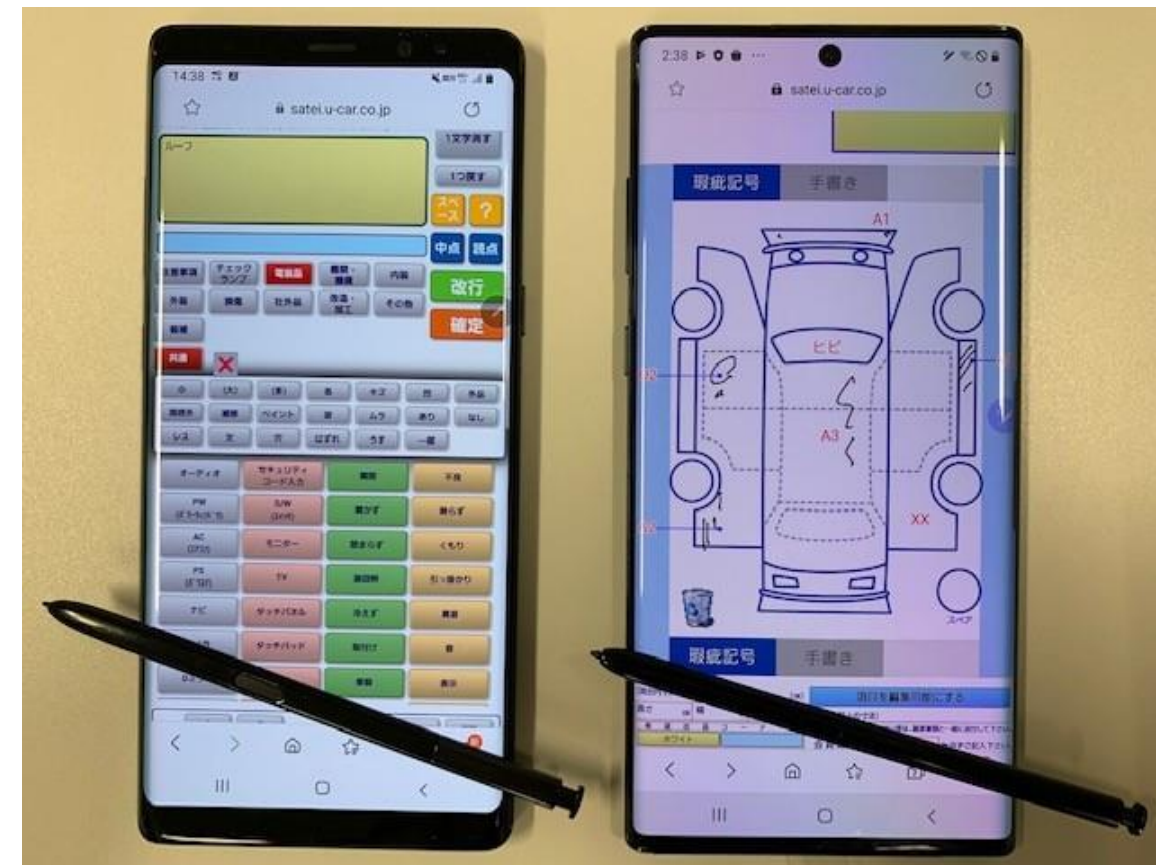
会員が車検証のQRコードを読み込むと、デジタル化した車両情報がUSSへ。

車両情報はUSS検査タブレットに反映。検査員は検査結果をタブレットに入力します。

※ キズや凹みの程度などを選択式で選ぶ形式を採用することで、検査結果の表現が統一されます。

デジタル化によるメリット

会員の利便性向上やオークション業務の効率化
今後の活用方法も多岐にわたることが想定



USS検査タブレット

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

4

新型コロナウイルスの影響について

5

株主還元

2021年3月期 連結業績予想

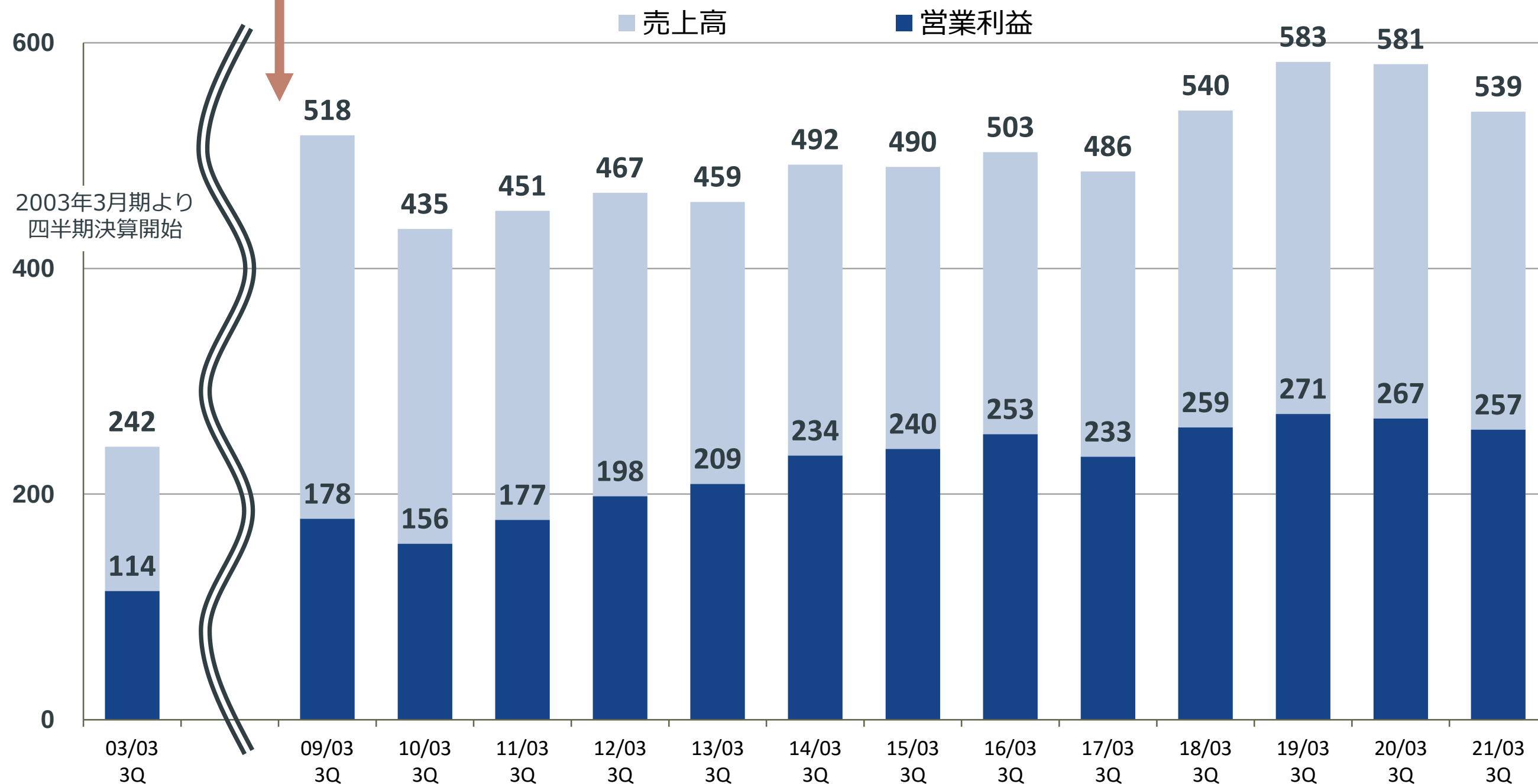
(単位：億円)

	2020.3 (実績)	2021.3 (8/3当初計画)	修正額	2021.3 (11/9修正計画)	前期比
売上高	781	673	39	712	91.1%
売上総利益 (売上比)	471 (60.4%)	378 (56.3%)	50	428 (60.2%)	90.9%
営業利益 (売上比)	360 (46.1%)	272 (40.4%)	54	326 (45.8%)	90.5%
経常利益 (売上比)	367 (47.0%)	278 (41.3%)	55	333 (46.8%)	90.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(売上比)	206 (26.4%)	184 (27.3%)	37	221 (31.0%)	107.1%
1株当たり 当期純利益 (円)	82.44	73.81	-	88.65	-

第3四半期業績の推移

2008年9月
リーマンショック

(単位：億円)



1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

4

新型コロナウイルスの影響について

5

株主還元

経済危機時のUSS対応について

2008年リーマン・ショック

出品台数の重視 → 利益重視へと経営方針の転換

- ・徹底的なコスト削減を図る
- ・極端なディスカウント等をやめ手数料収入の確保
- ・2009年4月～2010年9月エコカー補助金制度
→営業利益：2009.3月期/225億円
2010.3月期/219億円

2011年3月東日本大震災

新車・中古車台数：減少（供給の減少）
中古車の需要有 → 成約率・成約単価の上昇
→営業利益：2012.3月期/279億円(要因:エコカー補助金制度による新車販売の回復→出品台数の増加等)

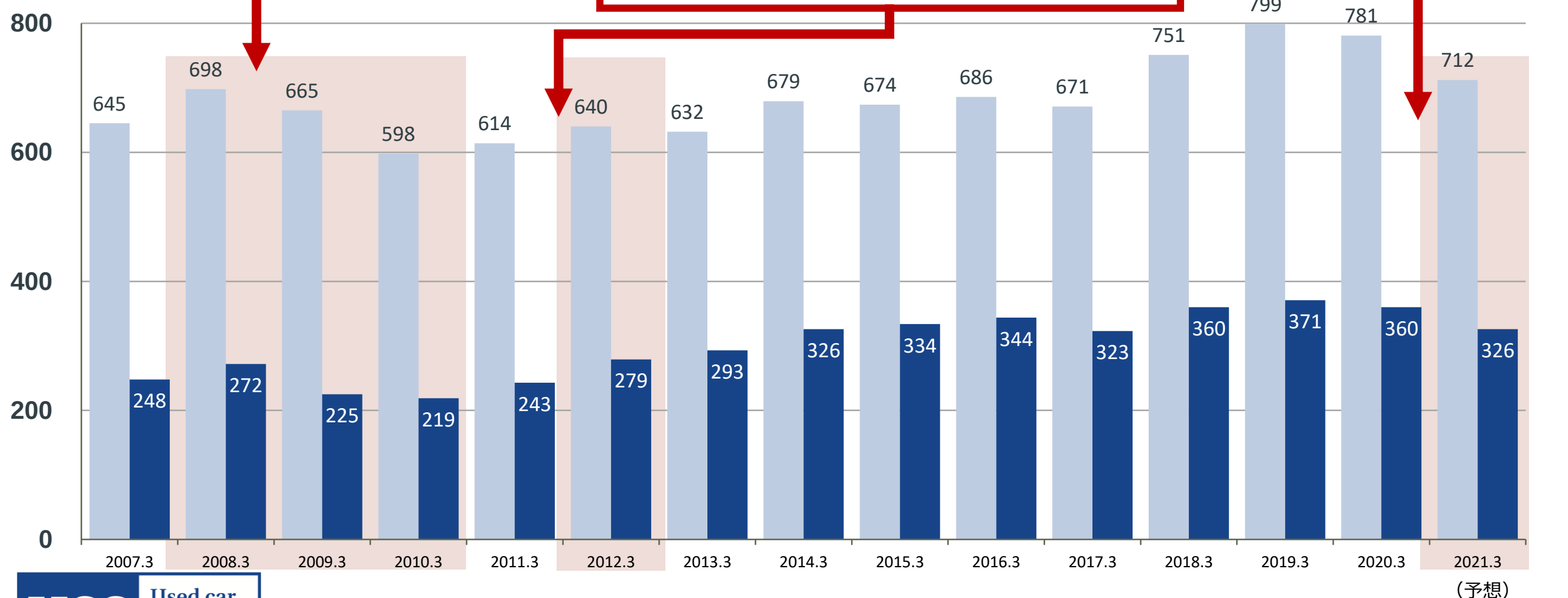
積極的な設備投資を実施

2013年 名古屋会場 新築建替
2014年 岡山会場 新築移転
2016年 静岡会場 新築建替

2019年～新型コロナ感染

営業利益：
2021.3月期/326億円（予想）

(単位：億円)



新型コロナ感染防止対策

名古屋会場での対策風景

様々な感染防止対策を実施し、
オークションを継続して開催。



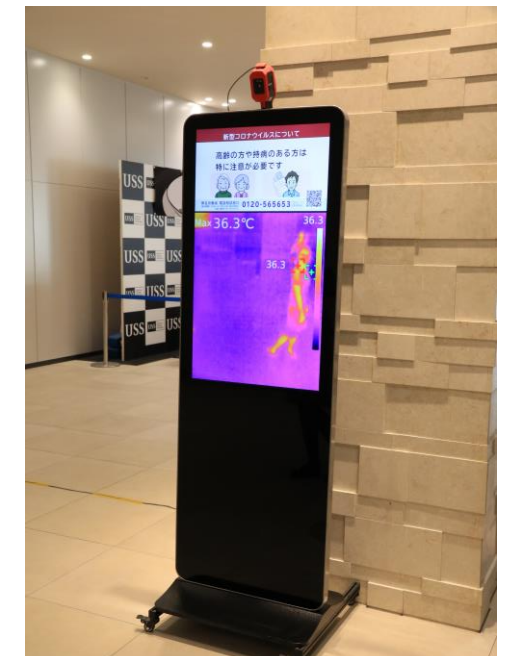
オークション会場の除菌作業



ソーシャルディスタンスの確保



カウンターにアクリル板を設置



サーモグラフィーの設置

新型コロナウイルスの影響について

新型コロナの影響

国内の中古車需要は底堅く、出品・成約台数は回復基調

中古車輸出台数の大幅な減少（海外需要の減少）

2021年3月期予想：売上高712億円（前期比91%） 営業利益326億円（前期比90%）
経常利益333億円（前期比90%）

新型コロナによる気づき

IT化の促進 / 来場せずオークション参加しやすいように、コロナ禍前よりオークション業務のIT化を促す。
例：出品票のデジタル化とタブレットによる車両検査のテスト運用実施。実際に車両を見なくとも、機関機構がチェックできるよう下回り画像システムやOBD検査の導入。

次世代車の普及 / 2025年以降より次世代型自動車（EV車両等）の普及が進むとみられる。
EV車への買い替えに伴い、中古車が増加 → オークションへの出品増加が期待される。

EV車の出品増加に対応するための検査体制を構築

1

当社の概要・業績について

2

オートオークション事業について

3

業績予想について

4

新型コロナウイルスの影響について

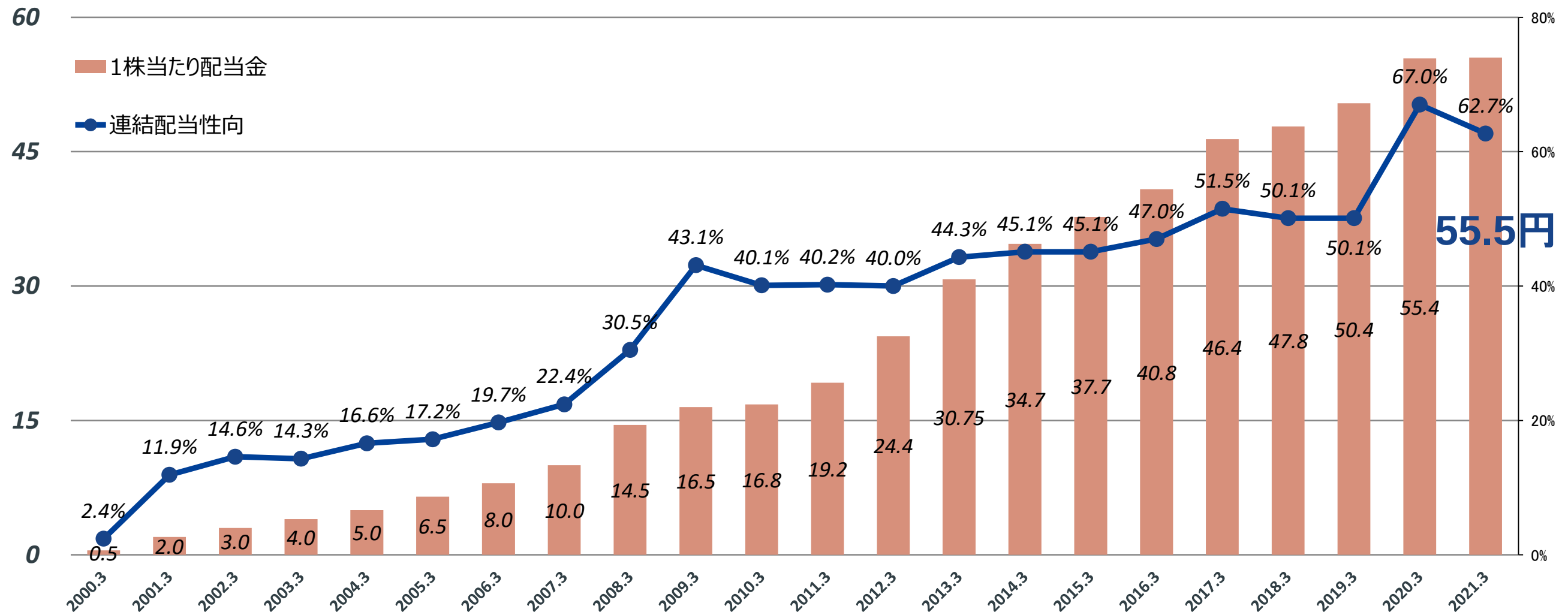
5

株主還元

①配当政策について

1. 配当に関する基本方針 連結配当性向 **55%以上**
2. 2021年3月期の1株当たり配当予想 **55.5円** (前期比0.1円増配)
3. 株式上場以来 **21期連続増配予想**

(単位:円)



※上記の1株当たり配当金は、株式分割（2013年10月1日効力発生日）を遡及修正して表示しております。

(予想)

②配当利回り(シミュレーション)

1株当たり年間配当額 **55.5円** (2021年3月期予想)

株価**2,057円**の場合、年間配当利回り $\div$ **2.69%**

(2021年2月24日 東京証券取引所終値)

株主優待を考慮すると・・・100株 (500円のQUOカード1枚 (年2回)) の場合

①年間配当額

5,550円

②年間株主優待相当額

1,000円 (500円相当 $\times$ 2回)

① + ②合計

6,550円 / 205,700円

$\div$ 3.18% (配当利回り+優待利回り)

年間配当利回りにつきましては税引き前の配当金を対象としています。

ご購入の際に必要な、証券会社の売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

③株主優待商品(年2回)

100～499株
QUOカード (500円1枚)



500～999株
三井住友VJAギフトカード 2,000円分



1,000～9,999株 カタログギフト 5,000円相当

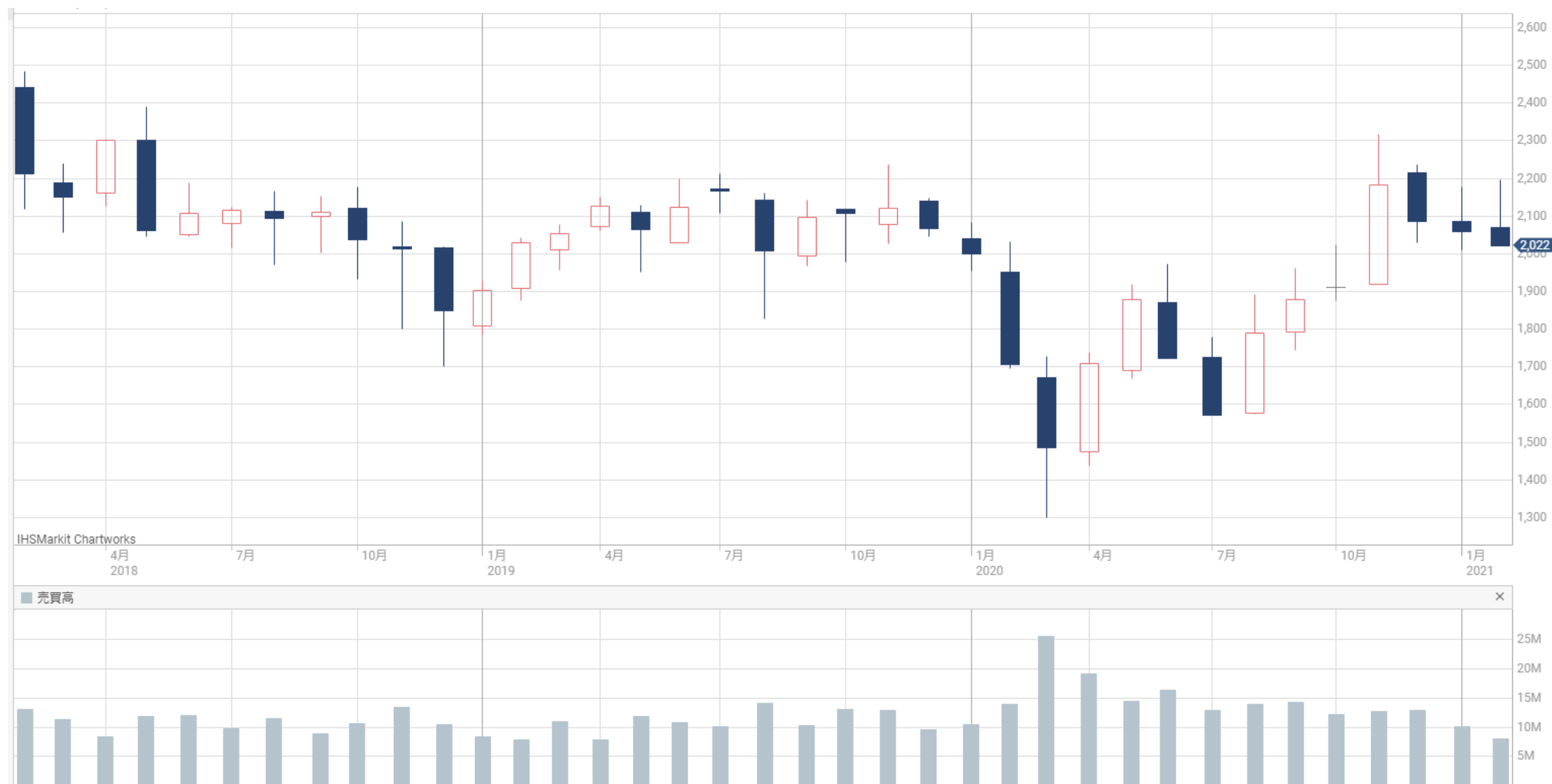


10,000株～ カタログギフト 10,000円相当



株価と出来高の推移

2018年2月1日～2021年2月1日



※このグラフはインターネットよりダウンロードしています。
<https://www.nikkei.com/nkd/company/?scode=4732>

「JPX日経400」の組み入れ銘柄に選定

日本取引所グループ及び東京証券取引所と日本経済新聞社は、新たな株価指数「JPX日経400」の算出を2014年1月6日より開始。USSは、この株価指数の構成銘柄の組み入れ銘柄に選定されました。

名称	JPX日経インデックス400（略称：JPX日経400）
構成銘柄数	400銘柄
対象銘柄	東証上場銘柄（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ）
特徴	資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「 投資者にとって投資魅力の高い会社 」で構成される新しい株価指数
銘柄選定	定量的指標としては、3年平均自己資本利益率（ROE）、3年累積営業利益、選定基準日時点における時価総額等でのスコアリング
定期入替実施日	2020年11月30日
組み入れ銘柄 （東証業種分類「サービス業」）	USS、ミクシィ、日本M&Aセンター、UTグループ、IS・IM・IS、パールHD、総合警備保障、カクコム、ディップ、ベネフィット・ワン、IMスリー、アウトソーシング、博報堂DY、電通、オインタルランド、楽天、イン・ジャパン、テクノロHD、アイ・アールジャパンHD、リクルートHD、ベイカレント・コンサルティング、リログループ、HIS、カネモト、セコム、メイテック

（出所：株式会社東京証券取引所HP「概要：JPX日経インデックス400」<<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/index.html>>）

IRに関する質問・お問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス

〒476-0005

愛知県東海市新宝町507-20

統括本部 総務部

TEL : 052-689-1129

FAX : 052-604-1915

参考元

(一社)日本自動車販売協会連合会、
(一社)全国軽自動車協会連合会、(株)ユーストカー

〈当資料取り扱い上の注意点〉

本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。

将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しには、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

IRに関するご質問については、こちらより受けております。

<https://www.ussnet.co.jp/ir/contact.html>